

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年6月30日</p> <p>堺市長殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住所 和歌山市小松原通三丁目69番地 氏名 株式会社浅川組 取締役社長 西口 伸 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 073-423-7161</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>																																					
事業場の名称	株式会社浅川組																																				
事業場の所在地	和歌山市小松原通三丁目69番地																																				
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日																																				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																																					
①事業の種類	6 総合工事業																																				
②事業の規模	完成工事高 28,040,000千円																																				
③従業員数	308名																																				
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="text-align: center;"> <p>(委託)</p> <table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">建設工事</td> <td style="padding: 0 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">分別</td> <td style="padding: 0 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">汚泥</td> <td style="padding: 0 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">保管</td> <td style="padding: 0 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">再生処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">木くず</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">保管</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">再生処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">がれき類</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">保管</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">再生処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">建設混合廃棄物</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">保管</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">最終処分</td> </tr> </table> </div>	建設工事	→	分別	→	汚泥	→	保管	→	再生処理					木くず		保管		再生処理					がれき類		保管		再生処理					建設混合廃棄物		保管		最終処分
建設工事	→	分別	→	汚泥	→	保管	→	再生処理																													
				木くず		保管		再生処理																													
				がれき類		保管		再生処理																													
				建設混合廃棄物		保管		最終処分																													

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

、 巻末 図-1 産業廃棄物処理管理体系図添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	排出量	21.7 t	1847.7 t
	(これまでに実施した取組) ISO14001環境管理に於いて「廃棄物のリサイクルによる建設廃棄物の減量化」を目標として取り組み、社内文書「産業廃棄物等処理管理要領」「廃棄物分別収集手順書」に基づき産業廃棄物の排出の抑制に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	排出量	20 t	1200 t
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続して実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001環境管理に於いて「廃棄物のリサイクルによる建設廃棄物の減量化」を目標として取り組み、社内文書「廃棄物分別収集手順書」に基づき産業廃棄物の分別に取り組む。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取り組みを継続して実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実施は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の計画は無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の中間処理の実施は無し。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の中間処理の計画は無し。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の実績は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の計画は無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	全処理委託量	21.7 t	1847.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	21.7 t	1847.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 処理業者と委託契約を締結するに当たっては、事前に処理業者の確認(処理能力・処理状況・維持管理状況・処理場周辺状況等)を行うとともに、委託後に必要に応じて定期的な確認を行う。再生利用が可能な廃棄物については、積極的に再生利用を推進するため委託先についての情報収集を行い、ルートの開拓を進めている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	全処理委託量	20 t	1200 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	600 t
	再生利用業者への処理委託量	20 t	1200 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまで実施した取り組みを継続して実施する。更に適正な委託先の選定にあたっては、優良産業廃棄物処理業者に関する情報、公開される産業廃棄物処理施設の維持管理情報等を活用していく。また、再生利用が不可能な廃棄物については、積極的に熱利用を推進するため委託先についての情報収集を行い、ルートの開拓を進めていく。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。